

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-152	A-330	15-074 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Association of Periodontitis and Subsequent Depression: A Nationwide Population-Based Study. 歯周炎とその後のうつ病との関連：人口ベースの全国調査		
<b>執筆者</b>		
Hsu CC, Hsu YC, Chen HJ, Lin CC, Chang KH, Lee CY, Chong LW, Kao CH.		
<b>掲載誌</b>		
Medicine (Baltimore). 2015 Dec;94(51):e2347. doi: 10.1097/MD.0000000000002347.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
歯周炎、うつ病		26705230
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b> 歯周炎は、多彩な症状を伴う全身性の慢性炎症性疾患である。苦痛とうつは歯周炎の進行に関連すると言われている。しかし、うつ病と歯周炎との因果関係は適切に調査されていない。本研究では、歯周炎とその後のうつ病発症との関連を検討した。</p> <p><b>方法：</b> 2000-2005年に新規に診断された12,708人の歯周炎患者と、歯周炎のない50,832人の比較対照を同定した。両群をうつ病発症、または国民健康保険から脱退するまで、2011年まで追跡した。歯周炎とうつ病発症との関連をCox比例ハザードモデルにより解析した。</p> <p><b>結果：</b> 歯周炎群のうつ病発症率は非歯周炎群に比べて高く、性、年齢、合併症を調整したハザード比は1.73 (95%信頼区間 1.58-1.89) だった。糖尿病、アルコール濫用、がんを有する群では、歯周炎とうつ病の関連はなかった。</p> <p><b>結論：</b> 歯周炎はうつ病発症の独立した危険因子と考えられた。しかし、糖尿病、アルコール濫用、がんを有するものでは関連が見られなかった。</p>		